



ご入園・ご進級おめでとうございます



4月1日、春の暖かい日差しに包まれた中、くすのき保育園入園進級式が行われました。

今年度は新たに14名の新入園児を迎え、在園児99名、計113名でスタートします。

式では、ちょう組さんが新入園児を迎えるにあたり、楽器と歌を披露してくれました。全員が見守る中、緊張した面持ちもありましたが、楽器演奏では、「さんぽ」の曲に合わせて友だちとリズムを合わせようと視線合わせて確認しようとしたり、「はるのかぜが」の歌では大きな声で元気よく歌ったり、ちょう組さんになって初めての大会でしたが、年長らしさを発揮してくれました。

入園進級式当日の朝、子どもたちはどんな様子かなと各クラスの朝の会をのぞいてみました。わくわくした表情で担任の話を聞いている子、部屋にはいるけれど、そわそわした様子の子、部屋や担任が変わった不安から廊下で職員と一緒に過ごす子、様々でしたが、新しいクラスでこれから一年、楽しい事やうれしい事を、友だちや保育者とたくさん経験し、来年の今頃には、大きくなったねと、保護者の方と成長を喜び合えるそんな一年にしていきたいと思います。



法人理念『生きる力を育む保育』への思い

前園長の退職に伴い、今年度新たに園長に就任しました、太田みさえです。3年前にくすのき保育園からどんぐり保育園へ異動となり、今回の職員異動でくすのき保育園に戻ってきました。くすのき保育園で子どもたちと一緒に楽しい事をたくさん経験できることを、今からとても楽しみにしています。

私が保育をしていくうえで、大事に考えている事、それは保育園で過ごす6年間（長い子で）だけでなく、小学校、中学校、そして大人になり、この先の人生がより豊かに過ごす事ができるようになる事です。この世に生まれ、最初の6年間であるこの乳幼児期に、自分の気持ちを受け止めてもらう事に喜びや心地よさを感じ、その安心感の中で良い事も楽しい事も、そして困ったこともきちんと発信できる事、どんな自分も受け止めてもらえる仲間や大人がいる事、そこを大事に考えていく事が生きていく上での土台となります。木で例えるなら、始めにできる根っこの部分を太く大きくすることが、この先、困難にぶつかっても自分で立ち直る力や、必要な時に誰かに助けを求められる力となり、どんな雨風がふいても倒れる事はありません。土台となる力をしっかりと育てていく事が私たち大人の役割だと思っています。

それが私たち法人の理念『生きる力を育む保育』につながり、そんな思いを年度末の職員会議で確認しました。職員一同、そんな思いを持って保育をしていきたいと思っています。一年間、どうぞよろしくお願い致します。